

2019 年度総合政策学部 FD 活動方針・活動計画

総合政策学部 FD 委員会委員 中島靖次

総合政策学部は、2017 年度より新カリキュラムを始動している。これまでのカリキュラムにおいて、総合政策学部としての理念を十分に展開し得ていないと思われる点を改善し、かなり大幅な変更を新カリキュラムには盛り込むこととなった。もっとも大きな変更の一つは、これまで緩やかな形で 3 ないし 4 の系統としてグループに分かれていた体制を、明確に 3 つのコース制（公共政策コース・国際政策コース・環境政策コース）として整備し、学生には 3 年生から各コースを選択し所属させることとなった。今年度は、新 3 年生よりこのカリキュラムにおけるコース選択を初めて実施することとなり、いよいよ新カリキュラムの中心部分が始動することとなった。

また、基礎的勉学のリテラシー養成の科目として「基礎演習」を設定しているが、この科目についても、大幅な変更を実施した。「総合政策入門」という従来総合政策学への導入を狙いとした科目を、この「基礎演習」の一環をなす科目として位置づけ、リテラシーの養成を、有機的に学科科目の導入的理解へと接続させるよう試みている。この意味では、本学部のもう一つの基幹科目である「文明論概論」も、この「基礎演習」と時間割を系統的に設定することによって、基礎的器官科目という位置づけを学生に定着させる工夫を施した。

さらに、実践体験型科目として、従来のいわゆる NAP と呼ばれる短期集中プログラムと学外体験プログラムを位置づけなおし、本学の理念としての理念と実践とのバランスのとれた勉学の体制をより明確な形に整えた。この実践型科目としては、中日新聞社より、これまでの講義型の授業に加え、演習形式の科目も提供してもらい、より実践的な勉学の実現を可能にしていると思われる。

以上、今年度は上記の新カリキュラムが完成年度（2020 年度）を迎える 1 年前の年に当たっている。したがって、このカリキュラムが指導して 3 年目の時点で、これまでに確認された問題点を洗い出し、学生にとって学部の理念が十全に発揮できるより完成度の高いカリキュラムへと再構成していく方針を立てている。そのために、カリキュラム委員会等の設置、およびコース別の担当者の会合等の意見を集約をふまえたうえで、FD 活動を展開していきたいと考えている。